

平成

# サラリーマン川柳

傑作選

三杯目

正 義  
ほめら  
大みそか  
社の行く手  
無礼講課長は  
石の上三年経てば次の石

ります今すぐやりますそのまんま

山藤章二

我が家で貯めれば五億年

尾藤三柳選

はとまれど蚊は刺せず

第一生命

無理をするなよ休むなよ

平成  
サブリーマン川柳  
傑作選

山藤章二＋尾藤三柳＋第二生命 選

# 選評

## 選評——自分の目で……

やまふじしょうじ  
山藤章二

似顔絵の場合、自分の眼力でモデルを凝視し特徴をつかみ出すのは、アマチュアにはなかなか難しい。そこで誰かがすでに描いた似顔絵をつい参考にしたくなる。物真似芸の場合も同様で、先に誰かが発見して演じた特徴を下敷きにすると、誰にもわかりやすいし誇張も大胆に出来る。ともに、記号化された「既成イメージ」をベースにした発想・表現で、伝わりやすいが独創性には欠ける。

「サラリーマン川柳」三冊目の選句をしながらフとそんなことを考え

た。〈会議は退屈、マイホームは遠い、女房はふてぶてしい〉……みんな記号である。これは作者の目で見たのじゃないな、すでに誰かが詠んだ世界だな、と思わせる句が少なくなかった、と以上は苦言。

もちろん思わず唸<sup>うな</sup>る傑作もある。〈石の上三年経てば次の石〉——辛抱の連続を、ことわざを下敷きにして切れ味するどく詠んだ。〈とりあえずいちおうだいたいなんとなく〉——日本のファジー社会（または会社）を、副詞四つだけで見事に浮彫りにした。

これから詠もうと思う方にひとことだけアドバイスしたいのは、「記号はなるべく避けた方がいいですよ」。大丈夫です、自分の目と言葉でつくった句は、じゅうぶん読者や選者に伝わります。

選評——トレンディな笑い

尾藤三柳 びとうさんりゅう

一般募集を開始して七年、「サラ川<sup>せん</sup>」という名で定着したこの短文芸には、いくつかの特性が見てとれ、それが一般的な人気を支えている。

①「明るい」自己嫌悪・「乾いた」自虐

現在の自分に決して満足はしていないが、だからといって、ジメジメしたり、落ち込んだりはしない。愚痴<sup>ぐち</sup>っぽいけれど、陰湿にならない。

②「屈託のない」弱者意識

抵抗意識や立身出世思考よりは、どちらかといえば「あなたまかせ」

で、同じ自己戯画化にも悲壮感は伴わない。

③「時事性」よりも「風俗性」

政治や社会の「本当にイヤなこと」は考えない、考えたくないという傾向が、いわゆる〈時事川柳〉と一線を画している。

④発想・形式ともに既成の尺度にとらわれない「自由」

詩や文芸といった装飾にこだわらない根っからの率直さ、むしろ「未完熟」ゆえの魅力が、広い共感を得る源泉になっていると思われる。

これらが、共通の広場（お祭り広場といってもよい）を作って、「サラ川」の世界を拡げつつあるのだが、この誰もが身につまされるようなちよっぴりセツない笑い、そこらがトレンドイなのだろう。

選評——三六五日が「<sup>しゅん</sup>旬」です

## 第一生命

「第一生命サラリーマン川柳（サラ川）コンクール」も、おかげさまで好評のうちに六回目が終了した。年を追うごとに作品の応募も増加し、今回は六万三〇〇〇句、累計で約二六万句を数えることとなった。

今回も、当世サラリーマン事情から、その時の世相、風俗、流行そして人間模様と、移ろいゆく三六五日の多彩な素材を活かした、イキの良いい作品が数多く寄せられた。

全国人気投票のトップ（九九二七票）は「いい家内10年経ったらおっ

家内」。

初々<sup>ういうい</sup>しかった若妻<sup>たくま</sup>の逞<sup>たくま</sup>しい変身<sup>おび</sup>に怯<sup>おび</sup>える世のサラリーマンの姿に、言葉遊びの妙味を織り込み、今様<sup>いまよう</sup>の夫婦の情景を描き出すといった、なかなか心憎い演出の作品であつた。

川柳を詠む人、作品を読む人、見ず知らずの間柄でも「サラ川」の世界のさまざまなドラマに共鳴、共感を覚え、そこに新しいコミュニケーションが生れていく。

「サラ川」はニッポンのサラリーマン、OLの皆さんの喜・怒・哀・樂の集大成。今日の苦勞は笑いで回復。明日への活力源として、存分にお楽しみください。三六五日、いつでも「旬<sup>しゅん</sup>」です。



山藤章二  
尾藤三柳

選

●

てん

こ

盛

り

の

一

杯

(

今回、

初めて

両氏選の

ベスト

テンの

中に、

同じ句が

一句だけ

ありました)

石  
の  
上  
三  
年  
経  
て  
ば  
次  
の  
石

さとりきらず

山藤章二選◎ベストテン

百葉の長の目もりのむつかしさ

アル中

とりあえずいちおうだいたいなんとなく

ファジー管理

同窓会墓場でやれば勢揃い

ヒトケタウマレ

成人病成人式より先になり

坊っちゃん

にわとりを起こして出勤マイホーム

白ひげ

社の行く手社長ひとりが通せんぼ

狂介

シルバーシートたぬきが四ひき眠ってる

もぐら

正義感後ろを見たら我一人

天の邪鬼じょうぐ

何故だろう私がいらないとうまくいく

かきませ棒

役員会肩書なければ老人会

ポール牧々



尾藤三柳選◎ベストテン